

\*~\*.....\*~\*

▼△自転車“ヘルメット着用”、4月から全ての人に努力義務へ△▼

\*~\*.....\*~\*



4月から道路交通法の改正により、全ての自転車利用者についてヘルメットの着用が努力義務となります。これまでは道路交通法第63条の11で「児童又は幼児を保護する責任のある者は、児童又は幼児を自転車に乗車させるときは、当該児童又は幼児に乗車用ヘルメットをかぶらせるよう努めなければならない」との規定があり、保護者が13歳未満の子どもにヘルメットを着用させることを努力義務としていました。これが改正となり、4月1日から自転車に乗車する際には年齢に関係なく、すべての人がヘルメットを着用すること、また他の人を自転車に乗せる際にもヘルメットを着用させることが努力義務となります。

●ヘルメット非着用時の致死率は約2～4倍！

警察庁の統計によると交通事故全体に占める自転車関連事故の割合は平成28年以降増加傾向にあり、令和3年中には6万9694件もの自転車関連事故が発生しています。

そして、平成29年から令和3年までの合計では、自転車乗用中に交通事故で亡くなった人の58%、約6割が頭部に致命傷を負っています。

(なお、頭部に次いで多いのは胸部12%、頸部8%、腰部4%です)。

また、ヘルメットを着用していなかった人の致死率は、ヘルメットを着用していた人に比べて約2.2倍※も高くなっています。

(出典：警察庁交通局)

※令和2年を見ると約3倍。また、公益財団法人交通事故総合分析センターによる平成19年から23年(5年間)のデータでは約4倍となっています。

ヘルメットは頭部への衝撃を1/15に軽減するとされており、ヘルメット着用による頭部の保護は事故の被害を軽減する上でとても重要となります。

さて、今回の改正は努力義務となっています。

法律で「～するよう努めなければならない」と規定されるものの罰則はありませんので、切符を切られたり刑罰に問われることはありません。

ただし、交通事故が発生した際にヘルメットがなかったために命を落とす、一命をとりとめても障害が残るような大きな怪我をしてしまったたり、また、ヘルメットを着用していなかったことが過失割合などに影響を及ぼす可能性もあります。

「効果はわかったけどヘルメットはどうも見た目が嫌だな…」と思った方はいませんか？

SNS上でも「髪型が崩れたり蒸れたりするのが嫌だ」という声が上がっています。

最近の自転車用ヘルメットには通気性がよく蒸れにくいもの、一見帽子のようなもの、ポニーテールでも着用できるなど使いやすい工夫がされているものも多くあります。自分の自転車スタイルに合わせて、お気に入りのヘルメットを選んでみてください。

今回の改正を機に、自転車のヘルメット着用を含め、交通ルールについて家族で話し合ってみてください。

○自転車安全利用五則

- 1 車道が原則、左側を通行 歩道は例外、歩行者を優先
- 2 交差点では信号と一時停止を守って、安全確認
- 3 夜間はライトを点灯
- 4 飲酒運転は禁止
- 5 ヘルメットを着用

以上



## スマホのセキュリティ対策していますか？～4つのポイント



スマートフォンのセキュリティ対策、できていますか？

スマートフォンは、携帯電話と小さなパソコンの二つの性格を兼ね備えた情報端末です。

便利な半面、パソコンと同様、しっかりとセキュリティ対策をしていないと、ウイルスに感染したり、情報が盗まれたりする危険があります。

突然自分のスマホに次のようなショートメッセージが届いたらどうしますか？

◆「お客様が不在の為お荷物を持ち帰りました。こちらにてご確認ください」

http://abc123～」

◆「お客様がお使いのUSO銀行口座に対し、第三者からの不正なアクセスを検知しました。ご確認ください」

http://abc123～」

実在する通販会社、宅配事業者や銀行名を使っていることが多く、安易にクリックするとお金や個人情報を盗まれる可能性があります。

例えば、銀行を語るメッセージのURLをクリックすると本物そっくりの偽サイトに誘導され、指示に従って暗証番号などを入力した結果、預貯金をすべて盗まれた！というケース

通信事業者を語るメッセージのリンク先で指示されたアプリをインストールしたらウイルスに感染しスマホを乗っ取られた！ケース

などがあります。

他にも、突然画面に「ウイルスに感染しています。保護するには下の確認ボタンを押してください」

という警告が表示され、指示に従ってアプリをインストールしてしまいお金をだまし取られたケースがあります。

大切なのは犯罪手口を知っておくだけでなく、被害を未然に防止するためのセキュリティ対策をしっかりと行うことです。

### ◎セキュリティ対策4つのポイント

1. セキュリティアプリや携帯電話会社などが提供するセキュリティサービスの活用

- ・迷惑メールブロック
- ・危険サイトブロック
- ・個人情報流出チェック
- ・不正アプリスキャン

2. OS・セキュリティアプリなどすべてのアプリは常に最新のものに更新する

3. 不審なメールを開かない、返信しない、リンクをクリックしない

4. 不安をあおる警告画面が表示されても安易に従わない。

アプリは原則、公式ストア以外からインストールしない

これらは自分のお金や個人情報を守るための基本的な対策です。

もし、こうした事前の対策をしたくてもスマホに不慣れでできないという場合は、ご家族や携帯電話会社のサポート窓口、携帯電話販売店店員などに手伝ってもらえばムリなくできます。

日々新たな詐欺の手口が発生しているからこそ、スマホのセキュリティ対策とあなた自身の防犯対策のアップデートを忘れないでください。

以上